

一般財団法人BNI財団ジャパン

第11期(2025年7月～2026年6月) 年間事業報告書

1. 事業総括

2025年7月から2026年6月までの1年間、BNI財団ジャパンは、「子どもたちに、より充実した人生を送るための力を与えること」を使命として、子どもたちへの教育支援、キャリア教育、地域における貢献活動、助成金事業、寄付の拡大、国内外のネットワークを活用した支援活動を推進した。

本年度は、従来から取り組んできた助成金事業に加え、Future Leaders Program (FLP)、Catch Your Dreamなどの教育プログラムを通じて、BNIメンバーの「経験・知識・行動」を子どもたちへ直接届ける活動が全国各地で広がった。

また、BNI財団ジャパン設立10周年を迎え、これまでの活動を振り返るとともに、次の10年に向けた財団の役割と方向性を改めて共有する機会を設けた。

さらに、BNIジャパンナショナルカンファレンスやBNIグローバルコンベンション等を通じて、国内外のBNIメンバーおよび各国のBNI財団との交流を深め、教育支援の輪を国境を越えて広げる取り組みも進展した。

2. 助成金事業

(1) 2025年度助成事業の成果確認

2025年度に助成を行った8団体について、2026年7月下旬から8月中旬にかけて助成金報告会を実施することとなった。

助成金報告会では、寄付者から預かった支援が、実際にどのように子どもたちの学びや成長、各団体の活動に活用されたかを確認し、支援の成果を把握する機会とした。

(2) 2026年度助成事業

2026年度助成事業については、2026年4月30日をもって公募を締め切り、全国から39件の申請を受理した。

その後、外部選考委員による審査を実施し、2026年6月には11団体を助成対象団体として決定した。採択団体の活動分野は、学習支援、不登校支援、学校での起業教育、国際交流、食育、居場所づくり、ものづくり等、多岐にわたった。

また、助成対象を中長期にわたり活用できる物品・設備等に重点化することで、単年度の支援にとどまらず、各団体の継続的な活動基盤の強化につながる支援を実施した。ICT機器、3Dプリンター、調理設

備、教育交流用備品等が助成対象となった。

助成団体	助成額	助成品・設備	主な対象	地域
NPO法人Colorbath	298,610円	ノートパソコン、プロジェクター	小中高校生	福岡県福岡市
NPO法人KEY	290,400円	タブレット端末	小学生、高校生	大阪府枚方市
特定非営利活動法人つなげる 里山ネットワーク	300,000円	作業台、冷蔵庫、羽釜、食器	小・中・高校生	兵庫県神戸市北区
特定非営利活動法人東京 シューレ「フリースクール東京 シューレ大田」	262,842円	3Dプリンター	小・中・高校生	東京都大田区
特定非営利活動法人盛岡ユースセンター	278,986円	PC、iPad、教材、炊飯器	小・中・高校生	岩手県盛岡市
Halten未来力研究所	250,000円	電子辞書、電子メモパッド、参考書・問題集等	困難を抱える中高生	埼玉県さいたま市
一般社団法人SLOWS	300,000円	かまど、羽釜	小・中・高校生	愛媛県今治市
特定非営利活動法人もりおか ユースポート	180,000円	バッグ作り体験用マシン	フリースクール利用者	岩手県盛岡市
一般社団法人こみらい／こみらい フリースクール	295,000円	調理器具、PC、カメラ	不登校生徒・高校生	大阪府大阪市
NPO法人湘南とアジアの架け 橋	183,200円	絵本、教育交流用備品	中学生、インドネシアの若者	神奈川県藤沢市
石川県立松任高等学校	300,000円	レーザーカッター	高校生	石川県白山市

3. キャリア教育・次世代育成事業

(1) Future Leaders Program (FLP)

BNI財団ジャパンでは、BNIメンバーが持つ職業経験や専門知識を教育現場へ届け、子どもたちが「働くこと」や「社会との関わり」を身近に感じ、自らの将来について考える機会を提供するキャリア教育事業を推進した。

本年度は、Future Leaders Program (FLP)を通じて、中学生・高校生・大学生・小学生まで幅広い年代を対象に、全国各地で教育プログラムを実施した。

2026年3月には、東京都多摩中学校において中学3年生約160名(4クラス)を対象にFLPを実施し、BNIから16名のメンバーが参加した。講師は、自身の仕事やキャリアだけでなく、失敗や困難を乗り越えた経験、仕事に対する思いなどを伝え、生徒が将来の進路や自分自身について考える機会となった。また、BNI大阪北東では、FLPの取り組みとして高槻市内の小学校等で継続的にプログラムを実施した。2026年7月には樫田小学校で32名、五百住小学校で62名の児童が参加し、様々な職業の大人との交流や体験を通じて、働くことや社会とのつながりを学んだ。

同地域では、前年に続いて2回目となる学校での実施も行われており、単発のイベントではなく、地域と学校が継続的につながる教育機会として定着しつつある。

さらに、BNI福岡博多による大学生向けプログラムなど、対象年齢や地域を広げながら活動を展開した。

これらの活動を通じて、BNIメンバーが「教える側」として一方的に知識を伝えるのではなく、自身の経験や仕事への思いを子どもたちと共有し、対話を通じて未来を考える機会を提供するという、BNI財団ジャパンならではのキャリア教育の輪が広がった。

Future Leaders Program 実施日一覧

日程	BNIリージョン	実施地域・学校	参加者等
2025年10月2日	福岡博多	博多・大学生対象	キャリア形成・社会での自己実現がテーマ
2025年10月21日	大阪北東	大阪府高槻市・五百住小学校	小学生対象
2025年10月23日	大阪北東	大阪府高槻市・芝生小学校	2回目の開催
2025年10月24日	大阪北東	大阪府高槻市・丸橋小学校	2回目の開催
2026年3月12日	東京合同	東京都・多摩中学校	中学3年生

※五百住小学校では、選6年生数名がBNI大阪北東のカンファレンスにおいて社会課題解決について発表もありました。

(3) Catch Your Dream

公益社団法人ジュニア・アチーブメント・ジャパンと連携し、中学生・高校生等を対象としたキャリア教育プログラム「Catch Your Dream」を全国各地で展開した。

本プログラムでは、職業紹介だけではなく、子どもたちが自身の夢やキャリアについて考え、将来の可

能性を広げることを目的として、BNIメンバーがボランティア講師として参加した。

Catch Your Dream 実施日一覧

2025年7月4日	茨城県常磐大学高等学校	高2
2025年7月9日	沖縄県立南部商業高等学校	高2
2025年7月10日	大阪府高槻市立第十中学校	中2
2025年9月24日	愛知県名古屋市立豊国中学校	中3
2025年10月1日	千葉県船橋市立豊富中学校	中2
2025年10月9日	茨城県いわき市立小川中学校	中3
2025年10月27日	茨城県立太田第一高校附属中学校	中2
2025年12月8日	東京都世田谷区立桜木中学校	中1
2026年1月9日	東京都立瑞穂農芸高等学校(定時制)	高2
2026年2月18日	東京都南多摩中等教育学校	中1
2026年2月27日	茨城県つくば市立谷田部中学校	中2
2026年4月17日	茨城県常磐大学高等学校	高2
2026年6月9日	大阪府岬町立岬中学校	中2
2026年6月18日	東京都練馬工科高校	高3

※第12期(2026年7月)以降も継続的にCatchYourDreamは行われます。

4. BusinessVoice™による地域貢献活動

BNIメンバーが、それぞれの地域で子どもたちや地域社会を支援する「BusinessVoice™」活動についても、ニュースレターを通じて積極的に紹介・発信した。

主な活動として、

BNI大阪北東による中学生へのマナーコーチング授業

BNI福岡博多による地域音楽イベントへの協賛・参加

BNI名古屋セントラルによるベトナムの日本語学校での教育支援

BNI New Styleによる子ども食堂支援

BNI福岡博多による子ども向け仕事体験フェス

BNI横浜セントラル有志による児童養護施設支援

など、教育、文化、地域交流、子どもの居場所づくり等、地域のBNIメンバーが持つビジネスの知識・経

験を子どもたちへ届ける取り組みが大きく広がった。

5. 寄付・支援者拡大の取り組み

本年度は、全国のBNIメンバーによるチャリティイベント、ゴルフコンペ、スポーツイベント、ナショナルカンファレンス等を通じ、財団への寄付・支援の輪が広がった。

都度寄付は、ゴルフコンペやスポーツ大会、リージョンフォーラム等を中心に約106万円となった。

主なものとして、

BNIナショナルカンファレンス前日 チャリティーゴルフコンペ 104,000円

BNIジャパン ナショナルカンファレンス 41,560円

BNIリージョナルリーダーズデー 86,000円

BNI横浜セントラル児童養護施設サポートチーム 100,000円

BNI大阪北東SportsDay2025 72,700円

BNI京都シティセントラルゴルフコンペ 67,000円

BNI東京N.E.リージョンフォーラム 218,000円

BNI大阪北東Annual Award Ceremony 201,600円

など、多くの支援が寄せられた。

また、2026年4月のナショナルカンファレンスでは、財団ブース等を通じて750,100円の支援が寄せられ、チャリティーTシャツも150枚が参加者の手に渡った。

さらに、ナショナルカンファレンスを契機として、新たな定期寄付者も増加し、財団サポーターの拡大につながった。

6. 財団設立10周年事業

2025年末には、BNI財団ジャパン設立10周年という重要な節目を迎えた。

2025年12月8日、ベルサール羽田空港において「BNI財団ジャパン10周年記念イベント」を開催し、これまでの10年間の歩みを振り返るとともに、次の10年に向けた活動方針を共有した。

イベントでは、

大野佳子代表理事による設立当初からの歩みと感謝

小野寺麻理子理事による助成金事業の紹介

高須英治理事によるCatch Your DreamおよびFuture Leaders Programの紹介

継続的な寄付者・教育プログラムへの貢献者の紹介

地域における子どもたちへの支援活動の紹介

などを行った。

10年間にわたり全国のBNIメンバーから寄せられた「Givers Gain®」の精神を改めて確認するとともに、次の10年に向け、子どもたちの可能性を広げる活動を継続・発展させていくことを共有する機会となった。

7. 国内外の連携・国際活動

本年度は、国内での活動に加えて、海外のBNIネットワークとの連携も進展した。

2025年7月には、代表理事および理事がBNI香港ナショナルカンファレンスに正式招待され、各国のBNI関係者との交流を深めた。

また、日本や米国などで実施していたウォーキングイベントが香港でも取り入れられるなど、BNI財団の活動モデルの広がりを感じられた。

さらに、2025年11月にはBNIグローバルコンベンション2025(オーストラリア・シドニー)に代表理事・理事3名が参加し、BNI財団本部および各国メンバーとの交流を行った。

シドニーでは財団主催のウォーキングイベントにも参加し、各国の参加者と子どものキャリア教育等について交流するとともに、参加費を教育支援につなげる取り組みを確認した。

このような国際的なネットワークを活用し、BNI財団の教育支援の考え方や活動を国内外へ広げる基盤を形成した。

8. 広報・情報発信

本年度は、毎月発行するニュースレター「Give Education」を中心に、財団の活動内容、寄付者への感謝、教育プログラム、助成金事業、BusinessVoice™、地域活動等を継続的に発信した。

特に、単に寄付を募るだけでなく、

「寄付がどのように子どもたちの未来につながっているのか」

を具体的な活動事例とともに伝えることを重視した。

また、「子どもたちの未来応援キット」を全国のリージョン・チャプター向けに展開し、寄付や地域貢献活動を目に見える形で伝えるためのツールとして活用を促進した。

これにより、財団の活動を一部の関係者だけのものとせず、全国のBNIメンバーが「知る」「参加する」「支援する」ための接点を増やした。

9. 本年度の成果と今後の課題

【成果】

本年度は、以下の点で一定の成果を上げることができた。

・助成金事業の継続・強化

2026年度は全国39件の申請を受理し、11団体を採択。

2025年度助成団体についても成果報告を行い、寄付金の活用状況を確認。

・キャリア教育の全国展開

Future Leaders Program、Catch Your Dreamを継続。

BNIメンバーの経験・知識を教育現場へ直接届ける仕組みを拡大。

・地域貢献活動の広がり

BusinessVoice™を通じ、児童養護施設、学校教育、仕事体験等、多様な活動を展開。

・支援者・寄付の拡大

チャリティイベントやナショナルカンファレンス等を通じて寄付機会を創出。

新規定期寄付者の増加につながった。

・財団10周年を契機とした認知向上

10年間の活動を振り返り、財団の存在意義と今後の方向性を共有。

・国際的な連携強化

香港、シドニー等で各国のBNI財団・メンバーとの交流、活動の国際的な広がりを形成。

・災害時の緊急支援体制

【今後の課題】

一方で、今後さらに財団の活動を発展させるためには、

・BNIメンバーにおける財団の認知度向上

・定期寄付者・支援者のさらなる拡大

・教育プログラムへのボランティア参加者の増加

- ・BusinessVoice™活動の全国的な可視化
 - ・助成団体との継続的な関係構築
 - ・助成事業の成果をより分かりやすく伝える仕組みづくり
 - ・海外BNI財団との連携強化
 - ・災害発生時の迅速な支援体制の整備
- 等が今後の課題として挙げられる。

10. 総括

2025年7月から2026年6月までの1年間は、BNI財団ジャパンにとって、「寄付による支援」から「BNIメンバーの知恵・経験・行動による支援」まで、支援の形を広げた一年となった。

助成金事業による経済的支援に加え、Future Leaders Program、Catch Your Dreamを通じて、BNIメンバー自身が教育の担い手として学校や地域社会に関わる機会が増加した。

また、BusinessVoice™による地域活動、10周年事業、国内外のネットワークとの連携など、財団の活動領域は着実に広がっている。

今後も、全国のBNIメンバー、支援者、教育関係者、助成先団体等との連携を深めながら、子どもたちが自らの未来を描き、その可能性を広げることができる社会の実現に向けて、継続的に事業を推進していく。

以上